

地区名 横手市

所在地 横手市フルーツライン

バス駐車 ○ 大地のつくり

トイレ × 水のはたらき

## 露頭までの道のり

横手市の国道107号線から平鹿や増田へと続く広域農道、通称フルーツライン沿いにある。横手市から大屋川を越えて、上り坂を登って行くとその途中の右手に大きな露頭が見つかる。

## 安全上の留意点

土砂を採掘する現場ともなっているため、地権者との打ち合わせで仕事のない時間帯を把握しておくことが大切。観察場所が広いので、教師の目の届く範囲で活動させるようにする。泥岩の層であるため、雨の次の日などは滑りやすいことが予想される。むやみに露頭に登らないことを徹底させたい。

## 観察のポイント

- ① 厚く泥の層が堆積していること。
- ② 粒が細かな泥岩の手触りを感じる。
- ③ 角ばった火山岩がないこと。
- ④ 大きな地層の広がりを感じる。



## 地質年代

新第三紀中新世後期(約1000万年前)

## 解説

船川層と見られ、手で簡単に割れるほどの柔らかい泥岩の層が、ほぼ露頭全体に広がっている。よって水のはたらきでできた大地だと判断することが可能である。

地層を詳しく見ると、暗い青色をした層が所々にある。これを採取してみると、丸みを帯びた長石や石英などが主の砂岩であった。堆積した当時、流れが強まって砂岩が流されてきた時代のあることが想像できる。また、泥岩層の中には丸いノジュールらしきものも点在していることが分かる。

(筆者独自調査)

## 露頭概観

## 指導形式

B



泥岩ばかりではなく、所々にこのような色(青っぽい灰色)をした層が広がっている。



火山灰の手触りに似ていたが、粒は大きい砂岩である。顕微鏡で見ると、粒の大部分が長石などの白っぽい鉱物で構成されている。



露頭入り口には円礫も点在する。しかし、これは外部から持ち込まれた建築廃材の一種と見られ、この露頭由来の礫ではない。